



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール
 コード番号 8005 URL <https://www.scroll.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴見 知久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括部長 (氏名) 杉本 泰宣 TEL 053-464-1114
 四半期報告書提出予定日 2023年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 61,786 | △0.9 | 5,224 | △19.2 | 5,187 | △20.3 | 3,558 | △20.3 |
| 2022年3月期第3四半期 | 62,359 | — | 6,462 | — | 6,510 | — | 4,462 | — |

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,523百万円 (△20.1%) 2022年3月期第3四半期 4,408百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 101.91 | — |
| 2022年3月期第3四半期 | 127.98 | — |

(注) 2022年3月期第3四半期については「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等の適用初年度となるため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 52,243 | 31,401 | 60.1 |
| 2022年3月期 | 49,711 | 30,037 | 60.4 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 31,401百万円 2022年3月期 30,037百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 10.00 | — | 54.50 | 64.50 |
| 2023年3月期 | — | 10.00 | — | — | — |
| 2023年3月期（予想） | — | — | — | 34.00 | 44.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 80,000 | △1.7 | 5,500 | △21.4 | 5,500 | △22.5 | 3,800 | △32.0 | 108.83 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期3Q | 34,981,050株 | 2022年3月期 | 34,873,050株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期3Q | 9,065株 | 2022年3月期 | 7,381株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年3月期3Q | 34,916,492株 | 2022年3月期3Q | 34,865,950株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は、2023年1月31日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限が緩和されたことにより、経済活動は正常化に向かう一方、新たな変異株による感染の急拡大や、エネルギー・原材料価格の高騰、急激な円安による輸入コストの上昇、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化等の影響に加えて、世界的な景気後退の懸念により、先行きは不透明な状況が続いております。小売業界におきましては、仕入価格や物流費をはじめとした各種コストの増加に加え、急激な物価上昇に伴い消費マインドは低下しており、厳しい経営環境となっております。通販業界におきましては、参入企業の増加に伴い業種・業態を越えた競争が激化しております。

このような環境のなか、当社グループは「DMC (Direct Marketing Conglomerate) 複合通販企業の変容と進化」をテーマとする中期経営計画「Next Evolution 2024」において、「第二次DMC複合通販経営の推進」及び「Responsibility経営の取組み強化」を二大重点方針として掲げ、売上成長と収益性向上の両立に向けて各事業セグメントのビジネスモデルの進化を図るとともに、環境・社会課題の解決に向けた取組みを推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高61,786百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。利益面におきましては、営業利益5,224百万円（同19.2%減）、経常利益5,187百万円（同20.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,558百万円（同20.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

前連結会計年度まで、6つの報告セグメントにて事業を展開してまいりましたが、第1四半期連結会計期間より、経営の効率化を図るため、従来の「健粧品事業」及び「旅行事業」セグメントを「HB T (Health & Beauty & Travel) 事業」セグメントとして統合し、5つの報告セグメントへと変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」をご参照ください。

なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

① 通販事業

通販事業におきましては、巣ごもり消費の反動減の影響等により春夏商材の売上が減少したものの、その後は回復し前期並みに推移いたしました。また、原材料価格が高騰するなか、引き続き商品調達方法の最適化の推進や販売価格の見直しによる原価率の低減、効率的なカタログ配布など、事業効率の最大化に向けた取組みを進めてまいりました。一方で、新たなSDGs商品やサステナビリティサービスの展開にも積極的に取り組んでおります。

以上の結果、売上高は31,406百万円（前年同四半期比5.0%減）となり、セグメント利益は4,790百万円（同16.3%減）となりました。

② ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、拡大を続けるEC・通販市場において、物流代行サービスにおける新規クライアントの稼働開始や、SLCみらいに次ぐ新たな物流センターとなる「SLC春日部」の開設など、物流代行サービスの業容の拡大を進め、全国通販3PL戦略を推進してまいりました。加えて、販促支援型コンタクトセンター「八王子センター」の開設、ECショップ運営代行サービスの提供開始など、サービスメニューの拡充にも取り組んでおります。また、決済代行サービスにつきましてはキャッシュレス決済への対応の拡大や事業効率の向上に努めたことにより好調に推移し、マーケティングサポート事業につきましても堅調に推移しております。

以上の結果、売上高は15,755百万円（同15.3%増）となり、セグメント利益は536百万円（同85.7%増）となりました。

③ eコマース事業

eコマース事業におきましては、オリジナル商品の開発や最適な商品調達ルートの開拓などに努めてまいりましたが、アウトドア・キャンプ商材において業種・業態を越えた競争が激化していることや、ブランドバッグ等の需要が回復していないことの影響を大きく受けました。なお、第2四半期連結会計期間において、アウトドア・キャンプ商材の販売状況を鑑み、不稼働在庫の評価損を計上しております。

以上の結果、売上高は15,319百万円（同5.3%減）となり、セグメント損失は173百万円（前年同四半期はセグメント利益313百万円）となりました。

④ HBT事業

HBT事業におきましては、化粧品・健康食品ビジネスにおいて、新規顧客獲得に向けた新たな商材の営業活動を強化いたしました。また、旅行ビジネスにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が一巡し、政府による全国旅行支援が開始されたことにより、徐々に回復の兆しをみせているものの、引き続き不透明な状況となっております。なお、2022年3月に化粧品子会社2社の保有株式を売却したことに伴い、売上高が減少しております。

以上の結果、売上高は1,089百万円（前年同四半期比34.6%減）となり、セグメント損失は125百万円（前年同四半期はセグメント利益52百万円）となりました。

⑤ グループ管轄事業

グループ管轄事業におきましては、自社保有物流施設等の不動産賃貸、当社グループの物流オペレーション及び海外子会社の管理を行っております。物流オペレーションにおいては、東海・関西・関東エリアにおけるオペレーション強化を進め、新規クライアントへの対応を含め、安定的な運営体制の構築に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は2,581百万円（前年同四半期比2.7%増）となり、セグメント利益は114百万円（同26.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は52,243百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,532百万円増加いたしました。この主な要因は、売掛金の増加、棚卸資産の増加、現金及び預金の減少によるものであります。

(負債)

負債は20,841百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,167百万円増加いたしました。この主な要因は、未払法人税等の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は31,401百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,364百万円増加し、自己資本比率は60.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年10月28日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました2023年3月期の通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2023年1月31日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,142 | 5,681 |
| 売掛金 | 11,403 | 13,793 |
| 棚卸資産 | 8,185 | 10,232 |
| その他 | 5,916 | 5,628 |
| 貸倒引当金 | △415 | △418 |
| 流動資産合計 | 32,233 | 34,917 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 6,866 | 6,596 |
| 土地 | 5,520 | 5,520 |
| その他(純額) | 1,149 | 1,006 |
| 有形固定資産合計 | 13,537 | 13,123 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 85 | 53 |
| その他 | 806 | 745 |
| 無形固定資産合計 | 892 | 799 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 3,437 | 3,784 |
| 貸倒引当金 | △388 | △381 |
| 投資その他の資産合計 | 3,048 | 3,403 |
| 固定資産合計 | 17,477 | 17,325 |
| 資産合計 | 49,711 | 52,243 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,963 | 3,239 |
| 短期借入金 | 75 | 3,000 |
| 未払金 | 7,241 | 7,035 |
| 未払法人税等 | 228 | 1,071 |
| 引当金 | 481 | 338 |
| その他 | 1,061 | 1,466 |
| 流動負債合計 | 12,051 | 16,151 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 6,000 | 3,000 |
| 引当金 | 57 | 55 |
| 退職給付に係る負債 | 1,403 | 1,470 |
| その他 | 160 | 163 |
| 固定負債合計 | 7,621 | 4,689 |
| 負債合計 | 19,673 | 20,841 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,018 | 6,064 |
| 資本剰余金 | 6,644 | 6,993 |
| 利益剰余金 | 16,726 | 17,732 |
| 自己株式 | △4 | △4 |
| 株主資本合計 | 29,385 | 30,784 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 464 | 606 |
| 繰延ヘッジ損益 | 150 | △52 |
| 為替換算調整勘定 | 37 | 63 |
| その他の包括利益累計額合計 | 652 | 616 |
| 純資産合計 | 30,037 | 31,401 |
| 負債純資産合計 | 49,711 | 52,243 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 売上高 | 62,359 | 61,786 |
| 売上原価 | 38,609 | 38,708 |
| 売上総利益 | 23,749 | 23,077 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,287 | 17,852 |
| 営業利益 | 6,462 | 5,224 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13 | 13 |
| 受取配当金 | 43 | 47 |
| その他 | 32 | 47 |
| 営業外収益合計 | 90 | 109 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 21 | 15 |
| 為替差損 | 14 | 127 |
| その他 | 5 | 2 |
| 営業外費用合計 | 42 | 145 |
| 経常利益 | 6,510 | 5,187 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 10 |
| 特別利益合計 | — | 10 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | — |
| 固定資産除却損 | 0 | 9 |
| 投資有価証券売却損 | — | 2 |
| 減損損失 | 20 | — |
| 特別損失合計 | 20 | 12 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,489 | 5,186 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,813 | 1,692 |
| 法人税等調整額 | 214 | △64 |
| 法人税等合計 | 2,027 | 1,628 |
| 四半期純利益 | 4,462 | 3,558 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,462 | 3,558 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|-----------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 4,462 | 3,558 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △24 | 141 |
| 繰延ヘッジ損益 | △50 | △202 |
| 為替換算調整勘定 | 21 | 26 |
| その他の包括利益合計 | △53 | △35 |
| 四半期包括利益 | 4,408 | 3,523 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,408 | 3,523 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|---------------------------|---------|---------------|-------------|-------|--------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 通販事業 | ソリューション 事業 | eコマース 事業 | HBT事業 | グループ 管轄事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 33,055 | 11,723 | 15,916 | 1,653 | 9 | 62,359 | — | 62,359 |
| セグメント間の 内部売上高 又は振替高 | 11 | 1,944 | 257 | 11 | 2,502 | 4,729 | △4,729 | — |
| 計 | 33,067 | 13,668 | 16,174 | 1,665 | 2,512 | 67,088 | △4,729 | 62,359 |
| セグメント利益 | 5,721 | 288 | 313 | 52 | 155 | 6,531 | △21 | 6,510 |

(注) 1. セグメント利益の調整額には、未実現利益等△21百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|---------------------------|---------|---------------|-------------|-------|--------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 通販事業 | ソリューション 事業 | eコマース 事業 | HBT事業 | グループ 管轄事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 31,403 | 14,009 | 15,277 | 1,079 | 15 | 61,786 | — | 61,786 |
| セグメント間の 内部売上高 又は振替高 | 2 | 1,745 | 42 | 9 | 2,565 | 4,366 | △4,366 | — |
| 計 | 31,406 | 15,755 | 15,319 | 1,089 | 2,581 | 66,152 | △4,366 | 61,786 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 4,790 | 536 | △173 | △125 | 114 | 5,142 | 45 | 5,187 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、未実現利益等45百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営の効率化を図るため、従来の「健粧品事業」と「旅行事業」を統合し、「HBT(Health & Beauty & Travel)事業」としております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。